



2022年9月29日

各 位



会社名 J C R ファーマ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員管理本部長 本多 裕
(TEL 0797-32-1995)

欧州での事業展開の拠点となる海外子会社 JCR Europe 設立に関するお知らせ

当社は、2022年9月15日付で、今後の海外事業展開を推進するため、欧州における開発活動の拠点としてオランダ王国ライデン市に新たな子会社 JCR Europe B.V. (ジェーシーアールヨーロッパビーブイー、以下 JCR Europe) を設立しましたので、お知らせいたします。JCR Europe のゼネラルマネージャーには Anne Bechet が就任しました。本子会社の設立は、当社が目指す姿として掲げる「グローバルで存在感のある研究開発型企業」を実現するものです。

JCR Europe の設立に伴い、欧州地域における臨床オペレーション・薬事対応・開発能力が強化されます。また、日本・米国・ブラジルの開発組織との情報連携も可能になることで、当社は、欧州地域だけでなく、グローバル全域における開発組織のさらなる柔軟性・拡張性を獲得することができます。さらに、欧州現地において専門医や患者支援団体・規制当局・その他の希少疾病における主要なステークホルダーとの十分な連携も可能となります。

当社は、ムコ多糖症 II 型治療酵素製剤 (INN : pabinafusp alfa 開発番号 : JR-141) に続き、ムコ多糖症 I 型 (INN : lepunafusp alfa 開発番号 : JR-171)、ムコ多糖症 IIIA 型 (サンフィリップ症候群 A 型、開発番号 : JR-441)、ムコ多糖症 IIIB 型 (サンフィリップ症候群 B 型、開発番号 : JR-446)、GM2 ガングリオシドーシス (テイ・サックス病、サンドホフ病、開発番号 : JR-479) など、独自の血液脳関門通過技術 J-Brain Cargo[®] を適用した複数のライソゾーム病の開発品目を有しています。これらの酵素は血液脳関門を通過するため、ライソゾーム病の身体症状に加え中枢神経症状へのアプローチが期待されており、現在すでにグローバル臨床試験を実施中の JR-141・JR-171 に続き、順次、グローバル臨床試験を実施する予定です。

JCR Europe の設立により、当社は今後も希少疾病領域のスペシャリティファーマとして、世界中の患者の皆さんの治療に貢献してまいります。

なお、本件に関する今期（2023年3月期）当社連結業績への影響は、2022年5月12日に開示しました今期業績予想に織込み済みです。

<設立子会社の概要>

(1) 名称	JCR Europe B.V.	
(2) 所在地	オランダ王国ライデン市	
(3) 代表者の役職・氏名	ゼネラルマネージャー Anne Bechet	
(4) 事業内容	・ 欧州における臨床オペレーション・薬事・開発業務 ・ 専門医・患者支援団体・欧州規制当局等との関連業務 ・ 事業開発関連業務	
(5) 出資金	50万ユーロ（約7,000万円）	
(6) 設立年月日	2022年9月15日	
(7) 決算期	12月31日	
(8) 出資比率	JCRファーマ株式会社	100%

ニュースリリースは株主・投資家の皆さまや報道関係者へ、当社の事業に関する最新情報の提供を目的としたものです。本資料に含まれている医薬品（開発中の物を含む）に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイス等を目的とするものではありません。

以 上